

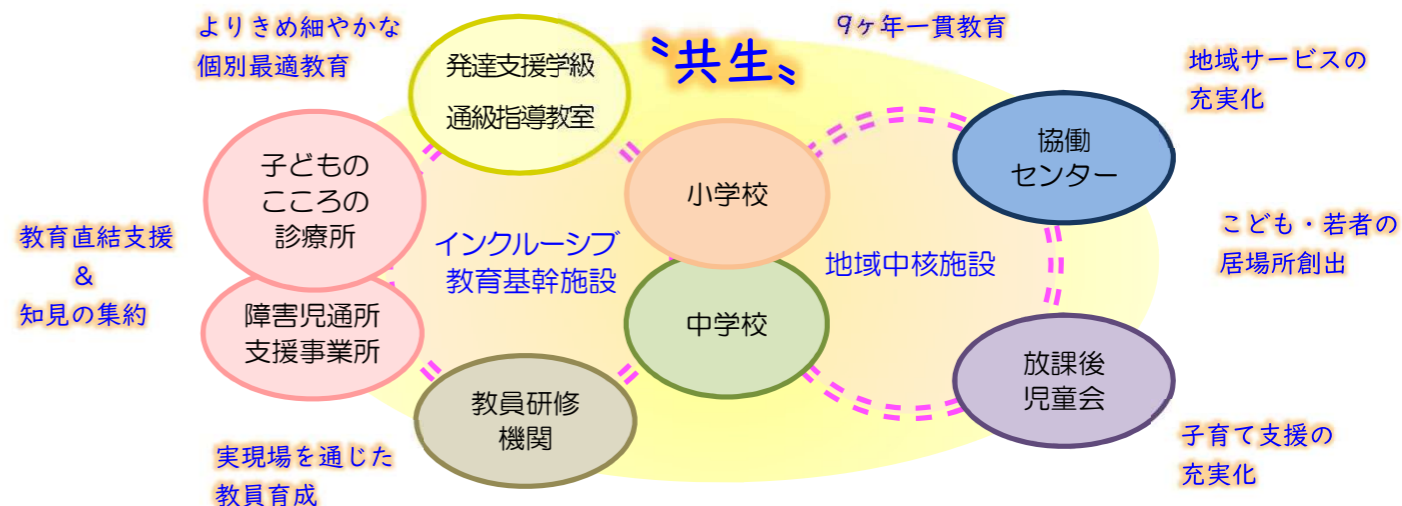
佐鳴台 地域中核施設 事業概要

1 目的

- ◆佐鳴台地域の住民交流の促進による地域コミュニティの活性化、郷土愛の醸成
- ◆生涯学習機能や子育て支援施設の一体化、こども・若者の居場所の創造による利便性向上
- ◆小中一貫校化による9年間の学びと育ちをつなぐ小中一貫教育の推進
- ◆医療・福祉・教育連携によるインクルーシブ教育、教員育成・支援の充実
- ◆インクルーシブ社会の実現に向けた施設・環境の創出

地域サービスの充実化と子どもたちが地域と共に学んでいく「地域中核施設」を目指した学校と協働センターによる効果的な施設活用の実現と、障がいの有無にかかわらず互いの個性を尊重し合いながら共に生きる共生社会の実現のため、全ての子どもたちが同じ場で共に学ぶ「インクルーシブ教育」を理念に、教職員の専門性の向上と切れ目のない支援体制を目指した教育・医療・福祉の機能連携強化の実現に向けた、学校施設を中心とした公共機能の施設複合化整備

2 複合化 機能相関図 ～2軸の複合施設～



3 施設複合化イメージ

現況

～敷地の一体化～

- > 2敷地間を通る市道の廃道
- > 新施設の相互利用における安全の確保

佐鳴台中学校 (25,713㎡)

佐鳴台小学校 (21,562㎡)

佐鳴台中

佐鳴台小

300m

佐鳴台協働センター

子どものこころの診療所

〈 周辺図 〉

施設名	建設年度 (R7時築年数)	延床面積 (現況)
佐鳴台小/放課後児童会	1976年 (築49年)	5,876㎡
佐鳴台中	1985年 (築40年)	6,236㎡
佐鳴台協働センター	1986年 (築39年)	1,224㎡
子どものこころの診療所	1974年 (築51年)	825㎡
全施設合計		14,161㎡

複合化構想

～(1)小中一貫校～

- > 施設一体の教育施設(規模・機能の適正化)
- > 小・中学校間交流促進

「9ヶ年の安心・連続性ある教育の提供」

～(2)地域中核施設化～

- > 学校の共同利用施設部分と協働Cの各種講座室を集約配置
- > 諸室の兼用利用による地域利用範囲の拡充
- > こども・若者の居場所・交流の場の創出

「地域サービスの充実化」「共創教育の推進」

～(3)インクルーシブ・機能連携～

- > 「教育」-「福祉」-「医療」機能の連携・相互支援
- > 施設一体ならではの相乗効果、インクルーシブ教育の実現へ

「支援活動者を支援する教育・福祉の基幹施設」

～(4)教員育成の場～

- > 発達支援学級・通級指導教室の設置
- > 現場を通じて得た経験・知識のフィードバック

「福祉機能支援による教員育成の場」

～(5)インクルーシブ活動支援～

- > 障害のある人にやさしい施設整備
- > 運営側、利用側 どちらでも使いやすい環境に

「障害のある人の活動推進支援の場」

敷地面積：約48,000㎡

本イメージ図における施設の配置等は現時点の案であり、今後設計段階で変更する可能性があります。